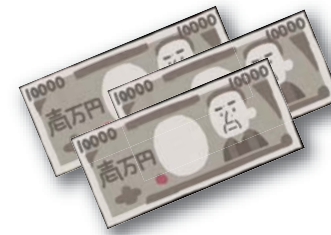


# 平戸市の財政状況



市では、「地方自治法第243条の3第1項」および「平戸市財政状況の作成及び公表に関する条例」に基づき、毎年2回「市の財政状況」を公表しています。今回は、平成25年度決算の概要と平成26年度上半期の執行状況についてお知らせします。

■お問い合わせ 企画財政課財政班 ☎内線2344

## 決算報告

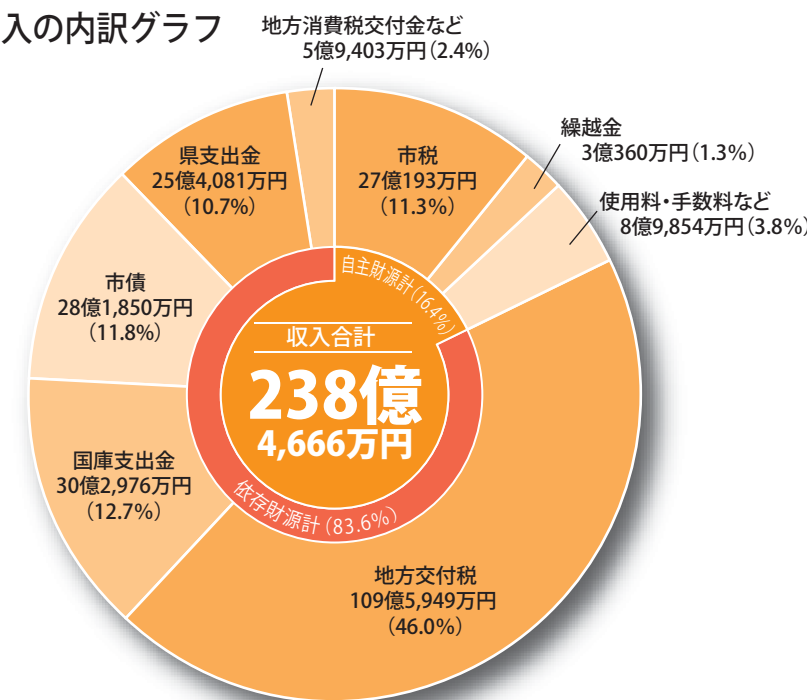
2億2,348万円の黒字決算

平成25年度の一般会計の決算額は、歳入が238億4,666万円、歳出が232億8,639万円となり、平成26年度への繰越事業の財源を差し引いた実質収支は、2億2,348万円の黒字となりました。

## ◎決算の状況(一般会計)

区分	平成24年度	平成25年度	対前年度増減額
収入総額	249億3,958万円	238億4,666万円	△10億9,292万円
支出総額	246億3,598万円	232億8,639万円	△13億4,959万円
差引額	3億 360万円	5億6,027万円	2億5,667万円
翌年度繰越額	1億9,834万円	3億3,679万円	1億3,845万円
実質収支	1億 526万円	2億2,348万円	1億1,822万円

## ◎収入の内訳グラフ



## 一般会計収入

市の自主財源は16.4%

歳入は、平成24年度と比較すると、国から臨時交付金が交付されたものの、公共施設整備などのための市債や、繰上償還のための基金繰入金の減少などにより、総額で10億9,292万円、4.4%の減となりました。歳入のうち、市税や使用料など市で賄える「自主財源」の割合は16.4%で1.6ポイントの減となりました。

## ■目的税の使いみち

### 都市計画税

区分	決算額
街路整備(亀岡循環線)	16万円
市債償還(都市計画関係)	5,105万円
合計	5,121万円

### 入湯税

区分	決算額
環境衛生施設整備	173万円
鉱泉源の保護管理施設整備	466万円
消防施設等整備	312万円
観光施設整備	838万円
観光振興	1,005万円
合計	2,794万円

## ■市税の内訳

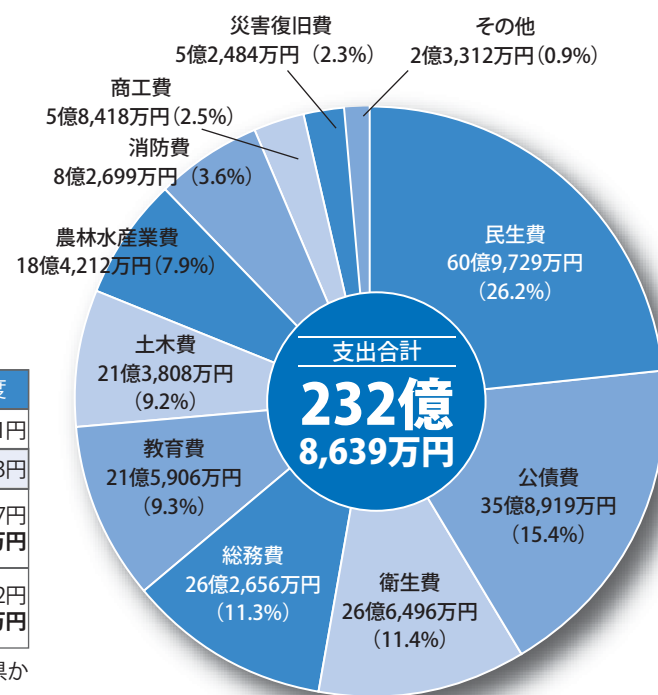
区分	金額	増減率
市民税	10億5,373万円	△2.09
固定資産税	12億3,692万円	△1.53
軽自動車税	9,358万円	3.11
市たばこ税	2億3,855万円	10.85
都市計画税	5,121万円	0.83
入湯税	2,794万円	0.77
合計	27億 193万円	△0.55

## 一般会計支出

平成24年度から13億4,959万円、5.5%減少

歳出では、平成24年度と比較すると高齢者福祉や児童福祉などのための扶助費や基金への積立金は増加しましたが、人件費や普通建設事業費、公債費などの減少により、総額で13億4,959万円、5.5%の減となりました。また、平成19年度から実施している市債の繰上償還を7億6,847万円行い4,466万円の負担軽減を図りました。

## ◎支出の目的別内訳グラフ



平戸市ふれ愛センター一度島平戸市国民健康保険度島診療所整備事業



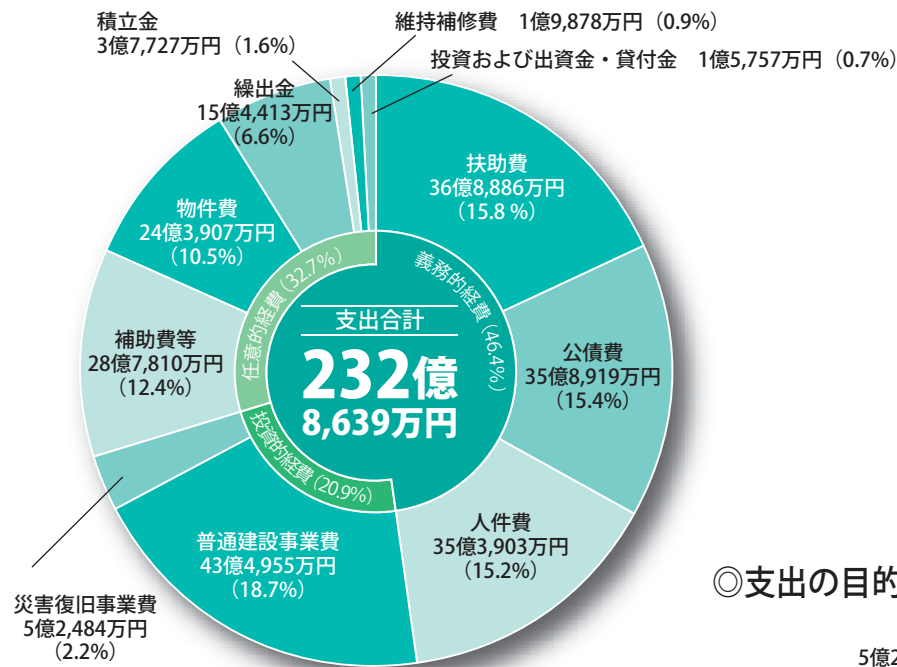
事業費(一般会計)5,108万円、(特別会計)1億819万円

まちづくり総合整備事業



事業費 4億1,073万円

## ◎支出の性質別内訳グラフ



市民一人あたり  
**68万173円**を支出

※平成26年3月31日現在人口34,236人で計算

## ■市民1人あたりの負担とサービスなど

区分	平成24年度	平成25年度
市民1人が負担したお金(市税)	7万8,021円	7万8,921円
市から受けた公共サービス(支出合計)	70万7,483円	68万 173円
貯金現在高(基金)	20万2,218円	21万5,927円
	<b>70億4,162万円</b>	<b>73億9,247万円</b>
借金現在高(市債)	81万1,356円	81万3,652円
	<b>282億5,303万円</b>	<b>278億5,619万円</b>

※負担したお金(市税)と、市からの公共サービスとの差額には、国や県からの補助金など税以外の収入が充てられています。

※貯金現在高(基金)と借金現在高(市債)の下段の数字は決算額。

## 主要事業

事業名	事業費	事業名	事業費
道路新設改良事業	9億8,886万円	鳥獣被害防止総合対策事業	1億2,249万円
漁港施設整備事業	6億 325万円	消防庁舎整備事業	9,739万円
地域介護・福祉空間整備事業(繰越)	1億4,600万円	ストックヤード整備事業	7,243万円
街なみ環境整備事業	1億2,969万円	鄭成功記念館整備事業	7,176万円

◎一般会計(収入)

区分	予算現額	収入済額
市 税	26億6,463万円	10億 411万円
地方交付税	105億 200万円	70億8,829万円
分担金・負担金	2億9,681万円	1億 918万円
国庫支出金	33億9,934万円	9億9,441万円
県支出金	28億3,439万円	2億1,056万円
繰入金	1億8,539万円	0円
市 債	44億2,610万円	0円
その他	16億2,888万円	9億8,176万円
収入合計	259億3,754万円	103億8,831万円

◎一般会計(支出)

区分	予算現額	支出済額
総務費	31億4,747万円	1億7,010万円
民生費	64億 895万円	3億4,800万円
衛生費	26億1,770万円	3億4,704万円
農林水産業費	17億4,280万円	2,564万円
土木費	19億4,551万円	3,459万円
教育費	27億1,046万円	7,222万円
公債費	30億4,998万円	15億2,499万円
その他	43億1,467万円	5,758万円
支出合計	259億3,754万円	25億8,016万円

◎特別会計

区分	予算現額	収入済額	支出済額
国民健康保険(事業勘定)	53億7,688万円	19億 895万円	22億3,343万円
国民健康保険(度島直診勘定)	7,140万円	871万円	939万円
国民健康保険(大島直診勘定)	1億2,208万円	2,292万円	2,439万円
後期高齢者医療	4億2,663万円	1億1,312万円	1億1,851万円
介護保険(保険事業勘定)	43億7,978万円	16億4,308万円	16億7,019万円
介護保険(サービス事業勘定)	2,854万円	1,034万円	1,217万円
農業集落排水事業	1,325万円	76万円	510万円
宅地開発事業	800万円	0円	36万円
あづち大島いさりびの里事業	1,201万円	0円	578万円
電気事業	2,213万円	752万円	666万円
給与管理	33億9,224万円	0円	16億1,239万円

◎企業会計

区分	予算現額	収入済額	支出済額	
水道事業	収益的収支	10億 268万円	3億7,961万円	2億1,967万円
	資本的収支	6億5,455万円	5,499万円	1億5,201万円
病院事業	収益的収支	32億4,600万円	9億7,521万円	17億6,806万円
	資本的収支	2億7,759万円	4,439万円	8,147万円
交通船事業	収益的収支	2億1,876万円	6,919万円	7,338万円
	資本的収支	2,569万円	0円	1,280万円

※収益的収支・・・経営活動によって発生するすべての収入と支出

※資本的収支・・・施設の建設改良に関する投資的な収入と支出

◎市債の残高

(市民1人当たり100万9,671円)

※平成26年9月30日現在人口33,921人で計算

区分	残高
一般会計	265億 246万円
水道事業	59億9,448万円
病院事業	14億4,463万円
交通船事業	8,309万円
国民健康保険(直診勘定)	1億2,672万円
農業集落排水事業	9,365万円
電気事業	401万円
合計	342億4,904万円

◎財産の状況

区分	面積・金額
土地	978万 630㎡
建物	25万1,123㎡
有価証券	1,355万円
基金	88億1,553万円
債権	4億1,282万円
出資金	6,468万円
出捐金	1億 44万円

◎一時借入金の状況

平成26年9月30日現在は、ありませんでした。

執行状況

限られた予算の中でまちづくりを実施中  
 平成26年度上平期(4月～9月)の収入および支出の状況  
 平成26年9月30日現在

※企業会計とは・・・

民間企業と同じようにその仕事自体に収益があり、その収益で支出を賄う仕事をまとめた会計です。

企業会計

水道事業	収益的収支	収入	8億4,718万円
		支出	8億6,324万円
病院事業	収益的収支	収入	22億5,326万円
		支出	21億9,384万円
交通船事業	収益的収支	収入	1億7,174万円
		支出	1億7,174万円
	資本的収支	収入	1億5,692万円
		支出	3億7,852万円
	資本的収支	収入	2億6,398万円
		支出	3億1,701万円
	資本的収支	収入	0円
		支出	2,535万円

※収益的収支・・・経営活動によって発生するすべての収入と支出

※資本的収支・・・施設の建設改良に関する投資的な収入と支出

※特別会計とは・・・

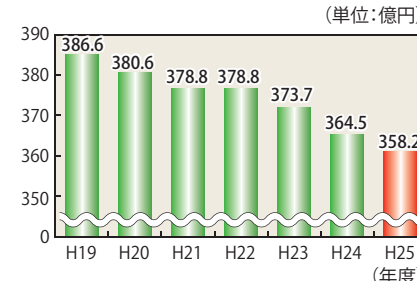
国民健康保険は国民健康保険税で、介護保険は介護保険料でといったように、特定の収入で特定の支出を賄う仕事をまとめた会計です。

特別会計

区分	歳入	歳出
国民健康保険(事業勘定)	54億1,044万円	53億4,238万円
国民健康保険(度島直診勘定)	1億7,650万円	1億7,650万円
国民健康保険(大島直診勘定)	1億1,379万円	1億1,379万円
後期高齢者医療	3億9,851万円	3億9,794万円
介護保険(保険事業勘定)	38億7,583万円	38億1,205万円
介護保険(サービス事業勘定)	2,898万円	2,898万円
農業集落排水事業	1,367万円	1,367万円
宅地開発事業	437万円	437万円
あづち大島いさりびの里事業	1,323万円	1,323万円
電気事業	2,464万円	2,464万円
給与管理	32億1,873万円	32億1,873万円

市債残高(全会計)

■市債残高の推移のグラフ (単位:億円)



市債残高は6億3千万円減少

市の借入金である市債は、大型事業の一部終了に伴い、発行額が平成24年度より減少、併せて繰上償還を行い残高の縮減に努めました。その結果、一般会計では平成24年度から3億9,685万円減少し、企業会計などを含めた全会計でみると6億2,813万円減少しています。今後もさらなる財政の健全化に努め、将来の公債費負担の軽減を図ります。

健全化判断比率と資金不足比率



財政指標

すべてにおいて判断基準内の財政状況

平成19年に制定された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律(財政健全化法)」により、毎年度、健全化判断比率などを算定し、議会に報告するとともに市民の皆さんに公表しています。平成25年度決算に基づく平成26年度の比率(指標)は、前年度と同様にいずれも国の基準(イエローカードとされる早期健全化基準)を下回り、財政状況は、おおむね健全であるといえます。各指標の改善は、平成19年度から実施している借入金(市債)の繰上償還によるところが大きいため、今後も行財政改革の取り組みを継続し、引き続き健全な財政運営に努めます。

健全化判断比率	説明	平成24年度	平成25年度	国の基準	
				早期健全化基準(イエローカード)	財政再生基準(レッドカード)
実質赤字比率	一般会計などの赤字から財政運営の深刻度を見る指標	-	-	12.92%	20.00%
連結実質赤字比率	すべての会計の赤字から財政運営の深刻度を見る指標	-	-	17.92%	30.00%
実質公債費比率	借金の返済額の大きさから資金繰りの危険度を見る指標	11.3%	9.7%	25.0%	35.0%
将来負担比率	市が抱える負債の残高から将来の財政への圧迫度を見る指標	56.5%	24.0%	350.0%	-

※「実質赤字比率」及び「連結実質赤字比率」は、赤字が生じていないため「-」と表示しています。

資金不足比率	説明	対象会計	平成24年度	平成25年度	国の基準
					経営健全化基準(イエローカード)
-	公営企業の資金不足割合から経営状況の深刻度を見る指標	水道事業・病院事業・交通船事業ほか	-	-	20.00%

※いずれの会計も資金不足が生じていないため「-」と表示しています。